

- 問1 承久の乱の結果、鎌倉幕府が京都に六波羅探題を設置した主な目的と背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 朝廷による倒幕の動きを未然に防ぐために監視を行い、西日本における幕府の支配力を強化するため。 | 2. 全国の地頭が徴収した年貢の管理や、御家人同士の土地争いを裁決する専門の裁判機関とするため。 | 3. 九州地方の防衛を強化し、大陸からの元軍の侵攻に備えるための軍事拠点とするため。 | 4. 室町幕府の將軍を補佐し、京都の治安維持や行政を担う管領をサポートするため。 |
|---|--|--|--|
- 問2 承久の乱の処理として京都に設置された、朝廷を監視するための機関を何といいますか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|----------|--------|
| 1. 管領 | 2. 京都所司代 | 3. 六波羅探題 | 4. 評定衆 |
|-------|----------|----------|--------|
- 問3 1192年に源頼朝が朝廷から任命された武家の最高職であり、これによって鎌倉幕府の首長としての権限が正式に確立された役職の名前は何か。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|---------|-------|
| 1. 摂政 | 2. 征夷大將軍 | 3. 太政大臣 | 4. 関白 |
|-------|----------|---------|-------|
- 問4 13世紀にモンゴル帝国（元）が二度にわたって日本へ侵攻した際、元は自国の軍勢だけでなく、すでに服属させていた朝鮮半島の国の兵や軍船を大規模に動員しました。このとき、元の軍勢とともに日本へ送られた朝鮮半島の国名として正しいものを選びなさい。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 1. 大韓帝国 | 2. 百濟 | 3. 高麗 | 4. 新羅 |
|---------|-------|-------|-------|
- 問5 承久の乱の戦後処理において、鎌倉幕府が西日本への統制を強めるために、没収した土地へ派遣した「東日本の武士」に与えられた役職として正しいものはどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|-------|--------|
| 1. 地頭 | 2. 六波羅探題 | 3. 守護 | 4. 評定衆 |
|-------|----------|-------|--------|
- 問6 飛鳥、奈良、平安、鎌倉、室町、安土桃山、江戸という時代順の変遷において、鎌倉時代から室町時代までを括る「中世」という時代の政治的な特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
| 1. 兵農分離が徹底され、検地や刀狩を通じて大名が領民を厳格に支配した。 | 2. 律令に基づいて、天皇や貴族が全国を直接支配する仕組みが確立された。 | 3. 武士が幕府を開き、土地の支配を仲立ちとして主従関係を結ぶ政治が行われた。 | 4. 内閣制度が導入され、憲法に基づき国民が選出した議会在が政治を主導した。 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
- 問7 院政の開始から鎌倉幕府の成立にいたる歴史的経過について説明した文として、正しく述べられているものを次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|-------------------------------------|--|
| 1. 鎌倉幕府が成立したあと、平氏政権がつくられて日宋貿易が盛んに行われた。 | 2. 白河上皇が院政を開始したあと、平清盛が武士として初めて太政大臣に就任した。 | 3. 平清盛が太政大臣に就任したあと、白河上皇による院政が開始された。 | 4. 源頼朝が守護・地頭を設置したあと、平清盛が太政大臣に就任して平氏の政権を確立した。 |
|--|--|-------------------------------------|--|
- 問8 山形県寒河江市の慈恩寺に伝わる鎌倉時代の仏像を調査した記録によれば、当時の武士社会は將軍と御家人の強い結びつきによって支えられていました。將軍が御家人の領地を保証したり新たな領地を与えたりする「御恩」に対し、御家人が果たすべき義務である「奉公」の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 戦乱の際に軍勢に加わって戦いに参加したり、京都や鎌倉の警備にあたりたりすること | 2. 幕府の許可を得て、東南アジア諸国との間で朱印船貿易を行い利益を上げること | 3. 大名が一年おきに領地と江戸を往復し、妻子を証人として江戸に住まわせること | 4. 収穫した農産物の一部を、租・庸・調などの税として都まで運んで納めること |
|--|---|---|--|
- 問9 鎌倉時代の武士の家において一般的であった、親の所領を息子だけでなく娘にも分けて引き継がせる相続の方法を何というか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 惣領制 | 2. 永代売買 | 3. 単独相続 | 4. 分割相続 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問10 13世紀後半の東アジア情勢と日本との関係について説明した文として、正しいものはどれですか。当時の中国大陆における王朝の交代と、その影響を正しく述べているものを選びなさい。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 元の皇帝は、足利義満との間で日明貿易（勘合貿易）を開始し、東アジアの海上秩序を安定させた。 | 2. フビライ＝ハンが南宋を滅ぼして元を建国し、中国を統一したあと、日本へも服従を求めて2度の遠征を行った。 | 3. 南宋の皇帝がモンゴル帝国を退けたことで、日本と南宋の間の貿易は鎌倉時代末期まで安定して継続した。 | 4. チンギス＝ハンが南宋を滅ぼして元を建国し、日宋貿易をさらに拡大させるために日本へ使節を送った。 |
|--|--|---|--|
- 問11 鎌倉時代後半、元寇（モンゴル軍の来襲）にともなう軍役負担や、分割相続の繰り返しによって生活が苦しくなった御家人が、自分の領地を売却したり質に入れたりする状況が相次ぎました。これに対し、鎌倉幕府が1297年に御家人の救済を目的として出した、売った領地を無償で取り戻させる法令を何といいますか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 永仁の徳政令 | 3. 御成敗式目 | 4. 公事方御定書 |
|----------|-----------|----------|-----------|
- 問12 鎌倉時代を代表する仏師である運慶の作風や活動背景について、正しく述べているものはどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 念仏を唱えながら踊ることで、地方の武士や民衆の間に新しい仏教の信仰を広める活動を行った。 | 2. 武士の好みを反映した力強く写実的な彫刻を追求し、東大寺南大門の金剛力士像などを手がけた。 | 3. 幕府の保護を受けて中国（明）へ渡り、水墨画の技法を取り入れた新しい芸術の形式を確立した。 | 4. 山の中で厳しい修行を行い、座禅によって自ら悟りを開くことを説く新しい宗派を広めた。 |
|---|---|---|--|
- 問13 御成敗式目が、のちに室町時代などで頻発した「徳政令」と異なり、制定された当初の段階では持っていなかった特徴として適切なものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|--------------------------|
| 1. 借金を強制的に帳消しにするような棄捐（きえん）の規定 | 2. 犯罪を犯した武士に対する処罰の基準についての定め | 3. 地頭が荘園領主に対して果たすべき義務についての定め | 4. 武士が領地を統治する際の手続きに関する規定 |
|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|--------------------------|
- 問14 日本の対外関係をまとめた歴史的事項において、13世紀後半の鎌倉時代に、モンゴル帝国（元）のフビライ・ハンによる服属要求を一貫して拒絶し、二度にわたる元軍の襲来（元寇）に対して防衛を指揮した鎌倉幕府の執権は誰ですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 北条泰時 | 2. 北条時宗 | 3. 足利尊氏 | 4. 北条高時 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 朝廷による倒幕の動きを未然に防ぐために監視を行い、西日本における幕府の支配力を強化するため。	承久の乱において、朝廷軍を破った鎌倉幕府は、二度と同じような反乱が起きないように朝廷を厳しく管理しました。また、乱の後に西日本の貴族や寺社が所有していた領地を没収し、多くの地頭を任命したことで、六波羅探題を通じて西日本全体への幕府の支配力が大きく高まりました。
問2	答え 3 六波羅探題	承久の乱のあと、幕府は朝廷の監視を強化するために、それまでの京都守護に代わって六波羅探題を設置しました。江戸時代に置かれた京都所司代や、室町時代に将軍を補佐した管領といった他時代の役職と混同しないように注意が必要です。
問3	答え 2 征夷大將軍	源頼朝は、平氏を滅ぼした後に朝廷からこの職に任命されました。これにより、武士が中心となって政治を行う「武家政権」が名実ともに成立しました。幕府という言葉は、本来はこの役職にある者の居所を指す言葉です。
問4	答え 3 高麗	モンゴル帝国（元）は日本侵攻に際し、朝鮮半島を統治していた高麗を服属させ、その軍勢力や造船技術を利用しました。新羅は元寇より数百年前に滅亡しており、この時期の朝鮮半島の情勢を正しく把握することが重要です。
問5	答え 1 地頭	鎌倉幕府は承久の乱の後、没収した広大な土地の管理や年貢の徴収を行うため、多くの東日本の武士を「地頭」として西日本へ送り込みました。これにより、西日本の地域社会に幕府の勢力が深く入り込むことになりました。なお、京都の監視や朝廷との調整を担うために設置されたのは六波羅探題であり、土地に直接配置された役職とは区別が必要です。
問6	答え 3 武士が幕府を開き、土地の支配を仲立ちとして主従関係を結ぶ政治が行われた。	中世は、それまでの天皇・貴族を中心とした古代国家から、武士が政治の実権を握る社会へと移行した時代です。将軍と御家人が「御恩と奉公」という土地を介した主従関係で結ばれたことが、この時代の統治の大きな特徴です。律令政治は古代、兵農分離や検地は近世、内閣制度や憲法は近代の説明です。
問7	答え 2 白河上皇が院政を開始したあと、平清盛が武士として初めて太政大臣に就任した。	平安時代末期には、まず白河上皇によって院政が開始されました。その後、力を伸ばした平清盛が武士として初めて太政大臣となり平氏政権を確立しました。したがって、白河上皇の院政開始が先で、平清盛の太政大臣就任が後となります。
問8	答え 1 戦乱の際に軍勢に加わって戦いに参加したり、京都や鎌倉の警備にあたりすること	鎌倉幕府における将軍と御家人の関係は、土地を媒介とした主従関係でした。将軍は御家人の領地を認めたり、新たな領地を与えたりする「御恩（本領安堵・新恩給与）」を与えました。これに対し、御家人は「いざ鎌倉」という言葉に象徴されるように、戦乱時に軍勢に加わって戦いに参加することや、番役として京都や鎌倉の警護を行うといった「奉公」の義務を負いました。選択肢にある参勤交代は江戸時代、租・庸・調は律令時代、朱印船貿易は安土桃山時代から江戸時代初期の制度です。
問9	答え 4 分割相続	鎌倉時代の武士の社会では、親の領地を複数の子供たちに分担して受け継がせる「分割相続」が広く行われていました。この制度の特徴は、男子だけでなく女子にも所領の一部が譲られる点にあります。これにより、女性が領主としての権利を持つことが認められていました。しかし、代を重ねるごとに一族の所領が細分化され、個々の武士の経済力が弱まる要因にもなりました。
問10	答え 2 フビライ＝ハンが南宋を滅ぼして元を建国し、中国を統一したあと、日本へも服従を求めて2度の遠征を行った。	モンゴル帝国の拡大により、それまで日本（平氏や鎌倉幕府）が貿易を行っていた南宋が滅ぼされ、元の皇帝であるフビライ＝ハンによる統治が始まりました。元は周辺諸国に服従を要求し、それに応じなかった日本に対して大規模な艦隊を派遣したのが「元寇」の背景です。チンギス＝ハンは帝国の創設者ですが、元の建国や南宋の滅亡、日本侵攻は孫のフビライの時代の出来事です。
問11	答え 2 永仁の徳政令	元寇での恩賞が不十分であったことや、当時の相続制度によって領地が細分化されたことで、御家人の経済状況は悪化していました。幕府は、御家人が経済的基盤である土地を失うことで「御恩と奉公」の主従関係が崩れることを恐れ、この法令を発布して御家人の救済を試みました。
問12	答え 2 武士の好みを反映した力強く写実的な彫刻を追求し、東大寺南大門の金剛力士像などを手がけた。	鎌倉時代は武士が政治の実権を握った時代であり、文化の面でも、より現実的で力強い表現が求められるようになりました。運慶は、その時代の要求に応えるように、解剖学的に正確な筋肉の動きや、生き生きとした表情を持つ彫刻を多く残しました。特に東大寺南大門の金剛力士像は、慶派の写実主義が頂点に達した作品と評されています。他の選択肢は、順に室町時代の雪舟、鎌倉新仏教の一遍（時宗）、道元（曹洞宗）の活動について述べたものです。
問13	答え 1 借金を強制的に帳消しにするような棄捐（きえん）の規定	御成敗式目はあくまで「公平な裁判」の基準を定めることを主眼としており、当時の武士社会の道理や慣習を法制化したものです。生活に困窮した者の借金を一方的に帳消しにするような徳政令の性質は、制定当初の式目には含まれていませんでした。後世の徳政令は、経済的に困窮した武士の救済という特定の目的で行われた一時的な措置であり、司法の基本原則を定めた式目とは性質が異なります。
問14	答え 2 北条時宗	北条時宗は鎌倉幕府の第8代執権であり、元のフビライ・ハンからの執拗な服属要求を拒否し、1274年の文永の役と1281年の弘安の役において、九州の御家人らを中心とした防衛体制を指揮しました。選択肢にある北条泰時は「御成敗式目」を制定した第3代執権、北条高時は鎌倉幕府滅亡時の執権、足利尊氏は後に室町幕府を開いた人物です。